

ミニコンを
ICON が鳴らす!?

46Minigon (ミニコン) は、1959年発売。レインジャーシリーズの中で最も小型。LE10+LE30+LX3のS5タイプとLE8のフルレンジタイプ2種類ある中、N様にご納品したのはS5タイプ。駆動するのは、なんと手のひらサイズの超小型アンプ NuForce ICONAMP。これがミニコンを見事に鳴らします。この組み合わせは世界に一人?!

JBL 純正アンプ
SG520・SE400Sで
鳴らすハーツフィールド!

使用ユニットは、もちろん150-4C+375。更にレンジを広くするため2405を追加し3ウェイ使用。写真には写っていませんが、ステレオ再生です。このサウンドは唯一無二かも?!

JBL 三者三様



LINN LP12

この3つの宝物の全ての再生を担うのはベスト&ロングセラーのアナログプレーヤーLP12。壁一面に収められたLP盤。中でもマイルスデイビスへの情熱は深く、LP12も腕によりをかけて再生しているように素晴らしい音を奏でているのです。

パラゴンは OCTAVE V70SE にお任せあれ!

往年の、そして憧れの名機 D44000 Paragon (パラゴン)。ユニットは150-4Cと375を搭載。今まで様々な場所で様々な鳴らされているであろうパラゴン、この大きな筐体には6550を搭載した真空管アンプに悠々と駆動され、今まで聴いたこともない魅力的な再生を。OCTAVE V70SE と JBL ウィンテージスピーカーとのマッチングがこの上なくよいことを今回も知るのでした。



最初のきっかけは、お持ちのパラゴンのウーファーをLE15から150-4Cに変更することでした。それから写真のハーツフィールドをお納めすることになるまで約2ヶ月。



3年間しか製造されなかった希少なミニコンは、天井近くの壁に、

果たしてこの部屋にハーツフィールドが収まるのか? セッティングの日まで一抹の不安がありました。それが1cmの狂いもなくパラゴンの両サイドに収まった時には、何とも運命的なものを感じました。その後ご導入に至ったミニコンも、スタッフの懸念を吹き飛ばすスムーズさで、3兄弟が勢揃いしました。不思議なのは、これだけのものが揃っていないながらオーディオマニアの部屋に全く見えないこと。これら3つのスピーカーが呼び寄せ合ったのかと思うほど、家具のように自然に溶け込んでいます。

東京都N様

3つの宝を1つの部屋で。

◎SOUNDCREATE <http://www.soundcreate.co.jp/>
〒104-0061 東京都中央区銀座5-10-6 第一銀座ビル 7F Tel.0120-62-8166
営業時間: 12:00~19:00 定休日: 毎週火曜日/第2、第3日曜日 (祝日の場合第1日曜日に振替)

◎SOUNDCREATE Legato <http://www.soundcreate.co.jp/legato/>
〒104-0061 東京都中央区銀座2-4-17 Tel.03-5524-5828

【取り扱いブランド】LINN / PIEGA / B&W / ELAC / Davone / JBL / Albedo / McIntosh / Sonus faber / Audel Mark&Daniel / Anthony Gallo / HARBETH / OCTAVE / NuForce / TRIGON / N-mode / QUADRASPIRE...etc (ウィンテージ各種)



究極のシステムで



GIYA G2に対して、ジュビリー・モノの力がありすぎるのではという懸念から、純正の6550だけでなくEL34もご用意。グッドタイミングにもOCTAVE創設者のアンドレアス氏が来日していたので、バイアスの数字など直々にアドバイスを受けることができました。MRE130に比べてEL34の滑らかさ、質感の良さは魅力的でしたが、もっと生々しい音にしたいとのご要望で6550に変更。すると・・・。

昨年新居へのお引越しを機にB&W802からVIDA AUDIOのGIYA G2へ変えられたN様。この一年間は専用オーディオルームの音質改善に取り組まれていました。駆動するのはOCTAVEジュビリー・プリとモノラルパワーアンプのMRE130で、プレーヤーはLINNクライマックスDS/Kという、超ハイエンドシステム。低域のブーミーさがずっと気になっておられ、ルームチューニングを試行錯誤。スピーカーの変更までお考えになつていた中で、以前から気になられていたOCTAVEジュビリー・モノ(モノラルパワーアンプ)を、ご自宅でお聴き頂くことになりました。

OCTAVE ジュビリー・モノ
ご導入で新たなステージへ

千葉貞N様



LINN KLIMAX DS/K



OCTAVE Jubilee pre



OCTAVE Jubilee mono

ご試聴前は、今より強力なパワーアンプになれば低域がもっと暴れるのでは? というご心配もありましたが、真空管6550でご試聴いただき30分・・・それは「今まで何だったの?」と思ってしまうほどクラスの違う音。低域が制御され、スピーカーの存在が消え、部屋中に音が広がる浸透力。全ての帯域が素晴らしい! 更に、きつさのかけらもないスーパーステアチオナルなサウンドにN様、スタッフ共に驚きの瞬間となりました。スピーカー変更という選択の前に、ものは試して行つたデモでしたが、OCTAVEの真骨頂の魅力にはN様も深くご納得。スピーカーはそのままに、アンプのご導入を決意されました。その後、「あちこちで様々なシステムを聴いたけれど家が一番!」と大満足のご様子。今後は別のお部屋での新たなシステムをご検討中とか? 氏のオーディオへの情熱はまだまだ続きそうです。

あらゆるスピーカーを駆動するMRE130をもってしても、ジュビリー・モノの圧倒的なゆとり、音場感には度肝を抜かれ、ジュビリー・モノへのご導入を決意。OCTAVEのトップエンドのアンプが並んだN様の部屋で奏でる音は、壁のある空間を全く意識させず、言葉に表せないほど極上で上質なサウンドへ。

